

アートカード使用報告書

使用者	機 関（学校名）：龍ヶ崎市立城西中学校 職・氏名：教諭 鈴木 彩
使用期間	令和 3年 7月 6日（火）～令和 3年 7月 8日（木）
使用のねらい	・鑑賞の学習活動の導入として、美術作品の見方や感じ方を広げること。 ・美術館の所蔵作品や茨城県出身の画家などに関心をもつこと。
活動名	アートカードゲーム ～美術館の作品に会いに行こう～
実施方法（活動の流れ）別添可	ルールの確認→4～5人のグループでアートカードゲーム（共通点を探す）を行う→見つけた共通点についてグループごとに発表する→音が聞こえそうな作品を探す→発表する→まとめを行う
感想等：	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動では、色や構図、筆のタッチなどいろいろな視点で共通点を見つけることができた。 ・多くの作品に触れ、共通点だけでなく、画材の違いなどにも目を向けられた。 ・音が聞こえそうな作品を探すことで、描かれていないことも想像して鑑賞することができた。 ・アートカードゲームを行う中で、「この絵好き！」という声や、作品について意見を言い合う姿が見られ、自分なりに作品を味わうことができていたようだった。
使用風景（写真等）※当館ホームページに使用してもよい写真	
複製画とともに使用した参考資料： （ワークシートなどがあれば添付願います。）	

※当館のホームページに掲載させていただく場合がございます。その際は、ご連絡いたします。

※ホームページの「教育・研究」→「アートカードの貸出」→「アートカード報告書」のデータファイルがありますので、入力して、ご提出ください。